

記者発表資料

令和3年11月29日(月)
国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

北首都国道事務所発注工事において、「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」、「見積活用方式」、「材料単価の公表」を試行、「余裕期間制度(任意着手方式)」を採用します。

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について不調・不落対策を試行・採用しております。今回発注する下記対象工事は、以下について試行・採用します。

【対象工事 ※工事の内容については、別添の工事概要を参照して下さい。】

1. R3圏^{けんおうどう}中央道花島^{はなしま}高架橋^{こうかきょう}下部^{かぶ}その6工事
2. R3圏中央道花島高架橋下部その7工事
3. R3圏中央道花島高架橋下部その8工事

【不調・不落対策の試行・採用】

①「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定されるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

③「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査(臨時調査)により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

④「余裕期間制度(任意着手方式)」

発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる「余裕期間制度(任意着手方式)」を採用します。

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ
茨城県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所 電話:048-942-4041(代)

副所長 : 三澤 伸吾(みさわ しんご) 工務課長 : 山口 大介(やまぐち だいすけ)

1. R3圏央道花島高架橋下部その6工事

《工事概要》

- (1) 工事場所：自) 茨城県常総市大輪町 至) 茨城県常総市花島町
(2) 工期：工事の始期から183日間（工事着手期限 令和4年4月1日）
(3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
(4) 工事種別：一般土木工事 C+B
(5) 工事内容（概要）：

橋台・橋脚工	3基（逆T式橋台1基、T型橋脚2基）	
コンクリート		約580m ³
鉄筋		約80t
基礎工（既製杭（SC+PHC杭））		
φ1000 L=39.0m（AD1）		8本
φ1000 L=34.5m（PD1）		6本
φ1000 L=35.0m（PD2）		8本
仮設工		
土留・仮締切工		1式

- (6) 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

- (7) 「見積活用方式」

○見積の提出を求める工種

・直接工事費のうち、既製杭工

○見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

- (8) 「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として、既製杭の材料単価について公表を行います。

- (9) 「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	：	令和3年11月29日（月）
○技術資料等提出期限	：	令和3年12月13日（月）
○入札書・工事費内訳書提出期限	：	令和4年1月20日（木）
○開札日	：	令和4年1月24日（月）

2. R3圏央道花島高架橋下部その7工事

《工事概要》

- (1) 工事場所：茨城県常総市花島町地先
(2) 工期：工事の始期から183日間（工事着手期限 令和4年4月1日）
(3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
(4) 工事種別：一般土木工事 C+B
(5) 工事内容（概要）：

橋脚工 3基（T型橋脚3基）	
コンクリート	約420m ³
鉄筋	約 70t
基礎工（既製杭（SC+PHC杭））	
φ1000 L=35.0m（PD3）	8本
φ1000 L=33.0m（PD4）	6本
φ1000 L=34.5m（PD5）	6本
仮設工	
土留・仮締切工	1式

- (6) 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」
競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

- (7) 「見積活用方式」

○見積の提出を求める工種
・直接工事費のうち、既製杭工

○見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

- (8) 「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として、既製杭の材料単価について公表を行います。

- (9) 「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	：	令和3年11月29日（月）
○技術資料等提出期限	：	令和3年12月13日（月）
○入札書・工事費内訳書提出期限	：	令和4年 1月20日（木）
○開札日	：	令和4年 1月24日（月）

3. R3圏央道花島高架橋下部その8工事

《工事概要》

- (1) 工事場所：茨城県常総市花島町地先
(2) 工期：工事の始期から183日間（工事着手期限 令和4年4月1日）
(3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
(4) 工事種別：一般土木工事 C+B
(5) 工事内容（概要）：

橋脚工 3基（T型橋脚3基）	
コンクリート	約480m ³
鉄筋	約 70t
基礎工（既製杭（SC+PHC杭））	
φ1000 L=34.5m（PD6）	6本
φ1000 L=34.0m（PD7）	5本
φ1000 L=34.5m（PD8）	8本
仮設工	
土留・仮締切工	1式

- (6) 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」
競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

- (7) 「見積活用方式」

○見積の提出を求める工種
・直接工事費のうち、既製杭工

○見積の提出を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

- (8) 「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として、既製杭の材料単価について公表を行います。

- (9) 「余裕期間制度（任意着手方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年4月1日までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	：	令和3年11月29日（月）
○技術資料等提出期限	：	令和3年12月13日（月）
○入札書・工事費内訳書提出期限	：	令和4年 1月20日（木）
○開札日	：	令和4年 1月24日（月）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上